

平和の旗 (ピーすばた) をかかげよう

団体の旗ではなく、個人の意思を表明する旗です。



Geneve (Switzerland) 02.06.2003

陸を越え、海を越え、国境を越えて、虹は架かります。国家にとらわれない、国境や人種をはじめとする、一切の差別を超えた、自立した人々の心のシンボルとして、この虹の旗を提案します。

イタリアから始まったといわれる虹の「PACE」(パーチェ)の旗を、市民一人ひとりの意思表示の旗として、かかげる取り組みが日本でも始まっています。

2004年3月20日の「イラク戦争」開始1周年、国際反戦統一行動に、「市民の戦争反対の意思」を表明し、今後の憲法九条改悪を狙う様々な動きや「市民の平和に暮らす権利」を脅かすに風潮に対して、私たちの意思を明確に表明する旗として活用していただければ、とてもうれしいです。

虹の旗は、旗として持つだけでなく、マントとして使用する、バルコニーやベランダに掲げる、部屋のインテリアにするなど、さまざまな使い方があります。創意工夫で「PEACE」の文字は、いつでもどこでも飛び交います。

頒価: 2000円 / 1枚、送料別
大きさ: 135cm x 90cm
綴り: 英語の PEACE、右下に「平和」のロゴ
申し込み先: 郵便振替 + 郵送希望の方は
<http://www.seiko-jiro.net/modules/news/article.php?storyid=108>
へお申し込みください。



【平和の虹の旗の由来】

* 非暴力運動のリーダーのアルド・カピチニが1961年の平和行進に使った“イタリア平和主義者の旗”について紹介します。原文はイタリア語で、英語版から訳出しました。

原文: <http://www.comitatopace.it/materiali/bandieradellapace.htm>

英文: <http://fotw.unislabs.com/flags/it%7Dpace.html#orig>

最初の平和の旗は、今、トディ(中央イタリアの町)の近くのコレバレンツァにあって、ランフランコ・メンカロニ博士が保管している。彼は、メンカロニの友人で、獄友でもあるが、ペルージャ - アッシジ(聖フランシスコがいた町)間の平和行進を提案していた平和哲学者アルド・カピチニの協力者でもあった(原文の写真はシルバナ・メンカロニ(金髪)とアンナ・カピチニの1961年の行進のときのもの)。

この旗は1961年9月24日の平和行進に初めて登場した。それはバートランド・ラッセルに率いられたアルダーマストン(イングランド)での反核抵抗運動における英国の平和活動家の旗に触発されてできたものだった。カピチニは、友人のペルージャの女性たちに、さまざまな色の帯をできるだけ早く縫い合わせて、旗にして行進で掲げよう、と頼んだのである。

聖書の大洪水の神話では、神は虹を、人間と自然との融和の封印としてつかい、二度と大洪水が起きないように、と約束したという。こうして、虹は天と地の間の、そして人類全部の平和の象徴になった。

虹の色は(円盤に描いて)早く回すと白色に見えることから、“差異のなかの統一”という意味もある。

旗にあてえられる「平和のシンボル」という意味付けは、すべての物と人を融合させる虹と同じように、“ひとつにすること”というギリシャ語の“シンバロ”にまで遡ることもできる。

さらに、虹色のうちの5色は、民主主義アフロ・アメリカン運動のジェシー・ジャクソン師が設立した公民権協会で用いた「人種の旗」のなかにも含まれている。

虹の平和の旗は、80年代にイタリアの平和行進やデモンストレーションで広く用いられ、またイタリアのボランティアが率いた海外でのNGO、NPO活動(サラエボ、イラク、コンゴ、コンゴ)でもよく使われた。

2002年の9月以降、イタリアで大成功を治めた「すべてのバルコニーから平和を」(Pace da tutti i balconi)のキャンペーンで使われ、何万人もの人々がバルコニーや窓からこの旗を掲げ、「戦争というものに反対、イラク戦争反対」という意思を、はっきりと示したのである。(パオロ・モンタネリ、2003年3月1日)

世界中の虹の旗の写真を集めたサイトがあります。
<http://www.peaceflags.ch/show.asp?section=album&lang=jp>
をご覧ください。